



なぜ9月1日が「防災の日」なの？

9月1日は関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期でもあり、また昭和34年9月26日の「伊勢湾台風」によって戦後最大の被害を被ったことが契機となり、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、昭和35年に制定されました。



9月1日防災の日に、東北地方整備局で職員の防災能力の向上を目的とした「総合防災訓練」を実施しました。訓練では、「福島県沖を震源とした最大震度6強の地震発生」を想定し、被災状況の伝達や情報共有など、迅速かつ的確に対応出来るよう、災害対応の訓練を実施しました。



大石田出張所内

集めた情報をホワイトボードに記入。災害対応の基本です！

我が家の備え チェックリスト

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料 | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 飲料 | <input type="checkbox"/> 消毒液 |
| <input type="checkbox"/> 衣類 | <input type="checkbox"/> ティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 軍手 |
| <input type="checkbox"/> 電池 | <input type="checkbox"/> 防寒具 |
| <input type="checkbox"/> 救急薬品 | <input type="checkbox"/> 雨具 |
| <input type="checkbox"/> 貴重品 | <input type="checkbox"/> 常備薬 |
- (現金・印鑑・通帳・健康保険証・免許証など)
 携帯電話 (充電器も)
 その他必要なもの (おむつ・ミルク・生理用品など)

もしもの災害に備え、家庭で取り組む対策とは・・・

- 家具の置き方、工夫していますか？
- 食料・飲料などの備蓄は十分ですか？
- 非常用持ち出しバッグの準備をしましょう！
- 避難場所・避難経路は確認していますか？
- 家族の安否確認の方法は決まっていますか？

* 災害の備えとして、各家庭でチェックリストを活用しましょう！



村山地区第1回安全パトロール

8月6日に寒河江川砂防出張所・大石田出張所管内の施工業者と新庄河川事務所の職員で、村山地区安全パトロールを行いました。第1回として、寒河江川砂防出張所管内2箇所の工事現場と現場事務所を点検し、作業をするうえで危険な箇所がないか等、事故や災害に繋がる要因があれば早期に改善するよう点検を進めていきました。第2回は11月に大石田出張所で行います。

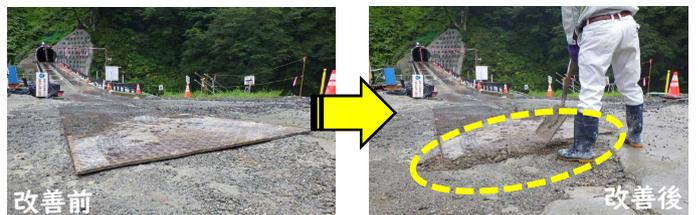


寒河江川流域 藤七沢砂防堰堤工事



階段通路を下まで引き延ばしました↑

志津地すべり排水トンネル第1期工事



敷鉄板のがたつきを補修しました(継続中)↑

8/26若手職員現場見学会・9/15ボート巡視

新庄河川事務所で採用4年目までの若手職員を対象に、現場見学会とボート巡視を実施しました。



① 先輩職員から工事現場の説明と、仕事のやりがいや苦勞したこと等を伝えました。



② 樋管の手動ハンドルを一生懸命回しますが、ゲートは少ししか開きません。

現場見学会では、鋼矢板の打ち込みについて、実際に2つの現場を見学し、地盤の硬さによる工法の違いを学びました。

また、芦沢第一排水樋管では、樋管の役割を学ぶとともに、実際にゲートの開閉を行い、水門等水位観測員が出水時にどのような仕事をしているのかを体験しました。(写真①②)

ボート巡視は、大石田出張所で毎年秋に実施していますが、今回は若手職員にも同乗してもらいました。初めて乗るボートに緊張しながらも先輩職員と一緒に河川の中から河岸や護岸の状況を確認していきました。(写真③④)



③ 河岸チェックのポイントを教えます。



④ 橋を真下から見るなど、初めて見る景色に驚いていました。

新庄河川事務所 工務第二課 武田技官 (採用2年目)

工事現場見学では、堤防の決壊の原因から、復旧方法までのノウハウを学ぶことが出来ました。また現場代理人の方が女性の方で苦勞していることや、やりがいを聞くことが出来て、私もこれから知識を沢山身につけて頑張りたいと思いました。

水門の樋管操作では、樋管の仕組みと操作してみて災害が起きた際は操作員が手動で操作すると聞いて、色々な人の協力があって地域が守られていると思いました。

ボート巡視では、河岸の洗掘状況などの普段あまり見ることが出来ない部分を巡視できて、危険箇所が把握出来ました。



新庄河川事務所 経理課 新田事務官 (採用1年目)

樋管樋管操作では、実際に体験したことで大変さを感じることができました。ボート巡視では、普段見ることのできない景色ばかりで、ボートによる巡視の大切さを感じました。

資料だけでなく、実際に見学・体験することによって理解もしやすく、楽しく、貴重な時間となりました。まだまだ知識不足なので、これからたくさん学んでいきたいと思っています。

東北地方整備局の職員は一般的に事務所等で経験を積んだ後に、出張所に「地域との窓口」として配属されます。いずれ彼らがみなさまの前で頼もしい姿をお見せできるよう、そして仕事の楽しさを感じられるよう、引き続き研修や見学会を実施していきます！



公募除草のお知らせ

大石田出張所では、資源の有効利用と河川維持管理のコスト削減を図るため、河川区域の除草に協力してもらえ方を募集しています。簡単な条件を満たせばどなたでも応募でき、除草した刈草は家畜の飼料や堆肥の原料などに利用することもできます。

【除草場所】大石田町横山地区・大石田地区の高水敷

【応募期間】令和3年9月27日～10月29日(先着順)

※先着順のため、除草面積が埋まり次第申し込みを締切いたします。

【申込方法】直接、大石田出張所に来所して申し込みして下さい。

※詳細は、「河川区域内の除草希望者公募」のチラシ(大石田出張所・尾花沢市役所・大石田町役場で配布)をご覧ください。



大石田地区



横山地区



【発行】

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所
(担当:三戸・浅沼)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2

(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおいしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。



ホームページもご覧ください！

<http://www.thr.milt.go.jp/shinjou>

新庄河川

検索

